

平成 25 年度教育事業「ボランティア養成セミナー」
「やる気！元気！ボランティア」

1 趣 旨




- ・ボランティア活動に必要な知識や技能の向上を図り，ボランティアとしての資質を高め，広く社会でボランティア活動に取り組める青年を育成する。

2 ねらい

- (1) 自然体験活動でのボランティアに必要な知識や技能の向上を図る。
- (2) 自然体験活動でのボランティアとしての資質や態度を養う。
- (3) 参加者同士で相互理解を深め，コミュニケーション能力を高める。

3 日 程

- (1) 期 日 平成 25 年 6 月 28 日（金）～30 日（日） 【2泊3日】
- (2) 参加者 46 名（大学生 45 名，社会人 1 名） ※募集 30 名
- (3) 研修内容及び講師

6 月 28 日 （金）	午後	○受付 18:30・開講式 19:00 ○講義・演習「ボランティアってなあ～に？」 講師：石川県社会福祉協議会ボランティアセンター 茂尾 亜紀 ○アイスブレイク	
6 月 29 日 （土）	午前	○実習「フレッシュタイム」 指導：交流の家職員 ○講義「教育課程と体験活動の関連性」 講師：富山大学教授 松本 謙一 ○実習「体験活動の技術：野外炊飯」 指導：交流の家職員	
	午後	○講義「学校教育における体験活動の意義」 講師：福井大学教授 宗倉 啓 ○講義「青少年教育施設の現状と運営」 講師：交流の家 次長 ○交流会	
6 月 30 日 （日）	午前	○実習「フレッシュタイム」 指導：交流の家職員 ○実習「学ぼう！いのちの救い方：救命救急法」 講師：羽咋消防署	
	午後	○実習「自然体験活動のプログラム作成」 指導：交流の家職員 ○「広がれ！のとボラのWA！：平成25年度事業紹介・ボランティア登録」 指導：交流の家職員 ○閉講式 16:00	

4 成果と課題

(1) 事前・事後アンケートによる事業評価

事業評価を目的とし、参加者 46 名を対象に調査を実施した。調査項目は、事業内容に対応した項目を含めた 35 項目を使用した。本事業のねらいである、「ボランティアに必要な知識や技能」「ボランティアとしての資質や態度」「コミュニケーション能力」に分けて平均値を算出し、事前事後の変容を図 1 に示した。その結果、すべてのグループにおいて平均値が有意に向上していることが認められた。したがって、前述の 3 つの観点について、本事業が参加者の変容に影響を及ぼしたと考えられる。

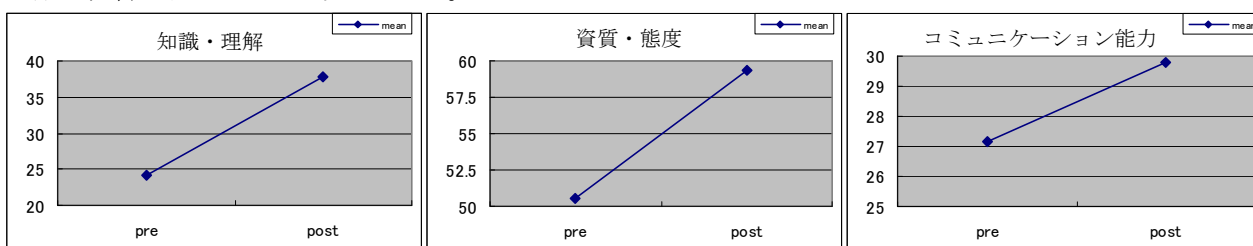


図 1 事前事後アンケートによる事業評価

(2) 成果と課題

《成果》

- ・ 事前事後アンケートによる事業評価（図 1）からも明らかなように、本事業のねらいである、「ボランティアに必要な知識や技能の向上を図る」、「ボランティアとしての資質や態度を養う」、「コミュニケーション能力を高める」について向上したことが分かり、ねらいを概ね達成できたといえる。
- ・ 体験活動プログラムを作成する中で、今後の教育事業やリレーションシップ事業で活用できるようなアイデアがたくさん出された。修了者が活躍する場のコーディネートを行うことができ、有効な取り組みであった。
- ・ 事業の参画にボランティアとしてかかわる参加者が見られ、ボランティアへの実践意欲を高める取組であったことが明らかになった。

《課題》

- ・ 本事業で高まったボランティアへの意欲を継続するように、定期的に連絡をとるなど関係を保つ。
- ・ 参加者から「実際に小中学生とかかわりたい」という声が聞かれた。事業後に、小・中学生とかかわる場を計画的に位置付ける工夫をする。



実習「学ぼう！いのちの救い方 救命救急講習」



実習「体験活動の技術：野外炊事」